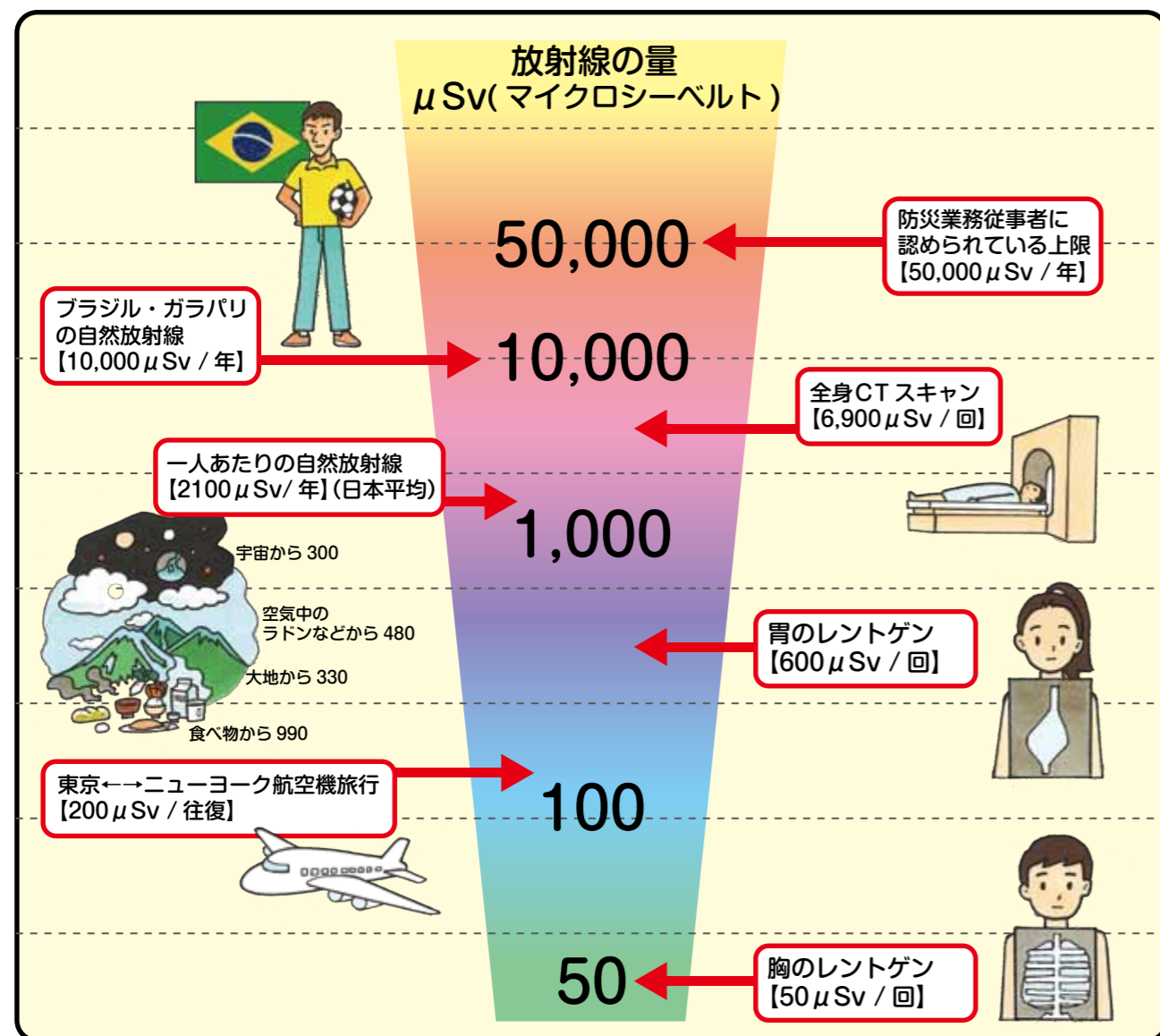


日常生活の中の放射線

私たちの周りの土や石の中には、放射性物質があり、日常生活の中で少しずつ放射線を受けています。放射線は、体の細胞を傷つけますが、私たちの体にはその傷を修復する仕組みがあり、日常生活で受けるくらいの放射線量では健康被害が出ないようにしています。また、放射線は医療の分野などでも活用されています。



原子力防災のしおり

原子力防災に関する情報は・・・

滋賀県防災危機管理局原子力防災室 電話：077-528-3445
〒520-8577 滋賀県大津市京町四丁目1番1号

長浜市総務部防災危機管理課 電話：0749-65-6555
〒526-8501 滋賀県長浜市八幡東町632番地

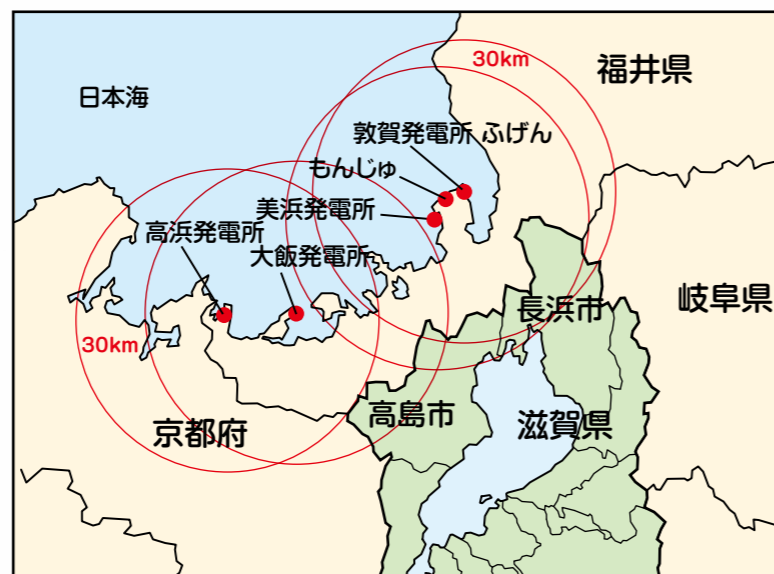
高島市政策部原子力防災対策室 電話：0740-25-8133
〒520-1592 滋賀県高島市新旭町北畑565番地

目次

原子力災害って？	01
災害時にはどうしたらいいの？	02
トラブル発生～避難までの流れ	03
屋内退避の指示がでたら	05
一時移転・避難の指示がでたら	06

なぜ滋賀県で原子力災害対策が必要なの？

滋賀県に隣接する若狭地域には、6つの原子力発電所が設置されています。これらの発電所で万一事故が起きた場合、最大43kmの地域まで、原子力災害に備える必要があるため、県では、原子力災害対策を行っています。



原子力災害って？

原子力災害は、地震、風水害、火災などの他の災害とは異なり、放射線を五感で感じる事ができないため、どのように行動すればよいか自分で判断することが困難です。みなさん、地元の市町からの情報に基づき、冷静に行動してください。



〈原子力災害発生時のイメージ図〉



1 情報に注意

テレビやラジオ、地元の市町からのお知らせに注意してください！



2 屋内退避

建物の中に入ること、放射性物質が体内に入り込むことを減らす効果があります。また、建物の壁は、透過力の低い放射線を遮ることができるので、屋内退避が有効です。

重要



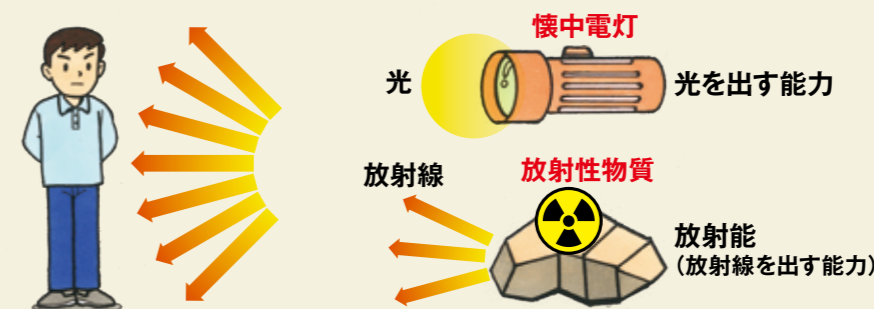
3 一時移転または避難

放射性物質から離れるほど、放射線の影響は少なくなります。そのため、お住まいの地域の放射線量が高くなった場合は、一週間以内に一時移転または数時間以内に避難が必要となります。



“放射線”と“放射能”

放射線を出す能力は放射能、放射線を出す物質は放射性物質と呼んでいます。放射性物質と放射線の関係を懐中電灯に例えると、懐中電灯が放射性物質、光が放射線、光を出す能力が放射能となります。



“内部被ばく”と“外部被ばく”

放射線を体を受けることを放射線被ばくといいます。

内部被ばく

呼吸や食べ物などから体内に入り込んだ放射性物質により、体内の組織や臓器が放射線を受けること。



外部被ばく

体の外部から放射線を受けること。



放射性物質放出前

原子力発電所でトラブル・異常発生



「原子力発電所の状況」「原子力発電所から放射性物質が放出されているか」「放射線の測定結果に異常があるか」に基づき、行政が屋内退避や避難などを判断し、県民の皆様にお知らせします。



トラブル発生から環境放射線モニタリングを継続して行います。

屋内退避の準備

テレビ、ラジオ、防災行政無線などの情報に注意してください。



屋内退避



「屋内退避」の指示が出されたら自宅、職場、公共施設などの建物に入りましょう。



空間放射線量の測定を行った結果…

1時間あたり
20 μ Sv未満で
屋内退避の継続
自宅、職場、公共施設などの**建物に入ります。**

1時間あたり
20 μ Sv以上で
一時移転
1週間以内に移動します。

1時間あたり
500 μ Svで
避難
数時間のうちに、
すぐに移動します。



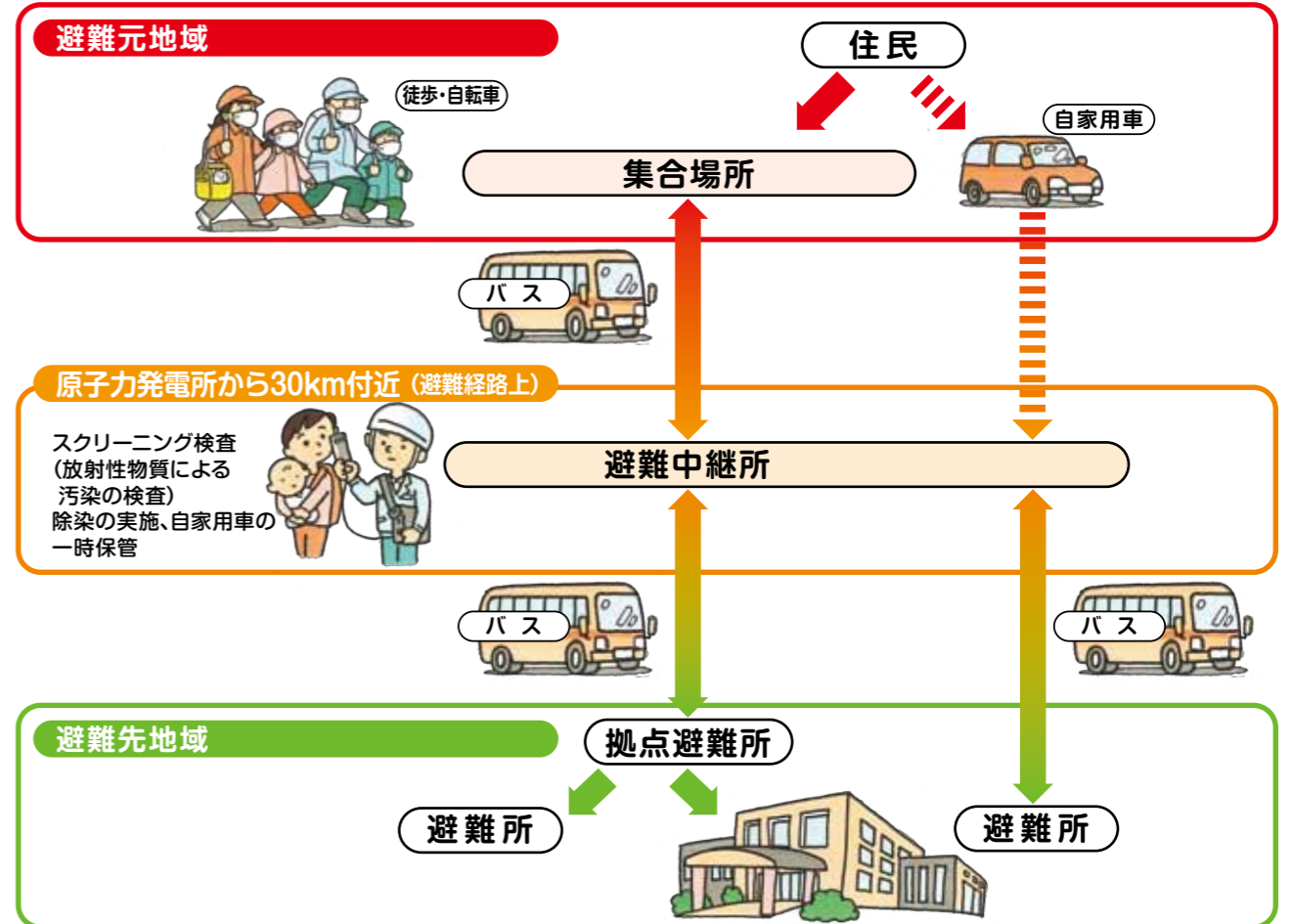
「避難」の指示が出たら、あわてずに、指定された集合場所へ移動しましょう。



放射性物質放出後

一時移転、避難が必要となった場合は…

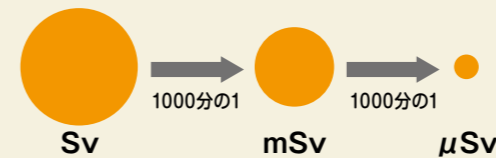
地元の市町が指定する集合場所までは徒歩、自転車などで移動してください。集合場所から避難中継所までは、避難用のバスを利用してください。ご自宅から集合場所まで歩いて行けない場合など、やむを得ない理由がない限りは、**自家用車で避難することは控えてください。**



※お住まいの地域の集合場所や避難方法に関する詳しいことは、地元の市町にお問い合わせください。

放射線の単位「シーベルト(Sv)」

「シーベルト(Sv)」とは、人体が放射線を受けたとき、人体への影響を表す放射線量の単位です。「ミリシーベルト(mSv)」や「マイクロシーベルト(μ Sv)」のように、大きさを表す単位とあわせて標記されます。

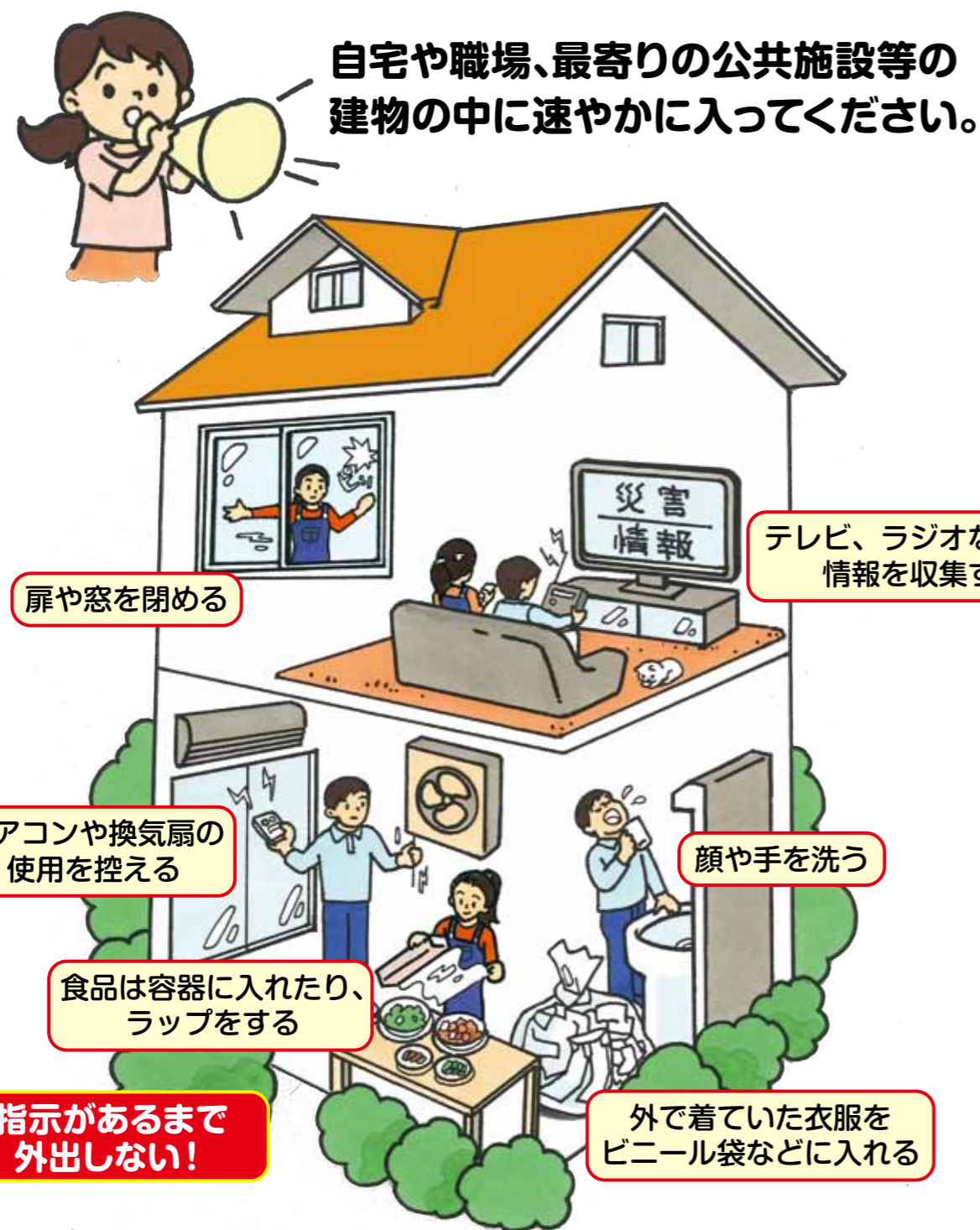


県内の放射線量

私たちは毎日の暮らしの中で、放射線を受けています。滋賀県内の放射線量は**1時間あたり0.004～0.18 μ Sv**程度です。

滋賀県内の放射線量は
0.004～0.18 μ Sv/h程度





自宅や職場、最寄りの公共施設等の建物の中に速やかに入ってください。

扉や窓を閉める

テレビ、ラジオなどから情報を収集する

エアコンや換気扇の使用を控える

顔や手を洗う

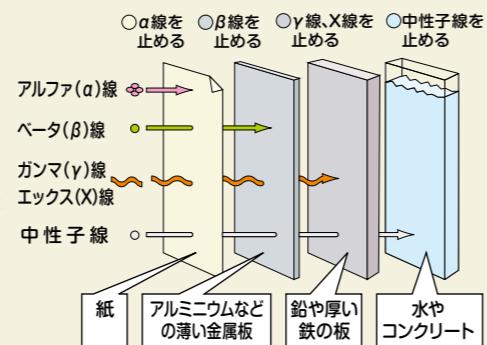
食品は容器に入れたり、ラップをする

外で着ていた衣服をビニール袋などに入れる

指示があるまで外出しない!

なぜ屋内退避が有効なの?

放射線の種類には、アルファ線、ベータ線、ガンマ線などがあります。アルファ線は紙1枚、ベータ線はアルミニウムなどの薄い金属板、ガンマ線やエックス線は鉛や鉄の厚い板などで遮ることができます。このため、原子力災害時には、建物の中で放射線を避ける屋内退避が有効です。



一時移転・避難の指示がでたら、身支度を整え、地元の市町の指示に従って落ち着いて行動してください。

指示の内容をよく聞く

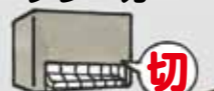


近所の人に声をかける



ガスの元栓を締め、電気はブレーカーを切る

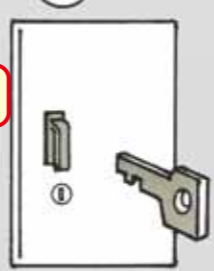
ブレーカー



ガス元栓



戸締まりをする

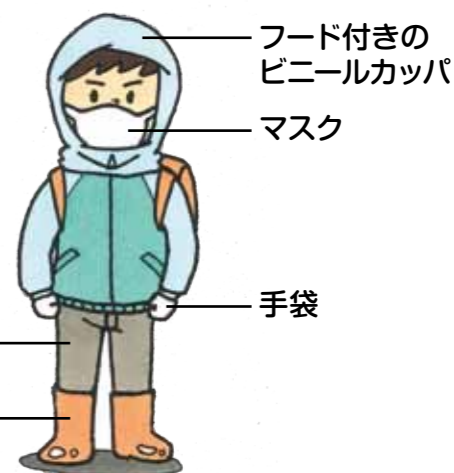


マスクや帽子、上着を着用する

マスクをしたり、タオルやハンカチで口や鼻をおおうだけでも、放射性物質を吸い込まないようにする効果があります。

避難時の服装について

なるべく肌をさらさない服装で移動しましょう。また、服などが放射性物質で汚染されている場合、着替えが必要となります。



フード付きのビニールカッパ

フード付きのビニールカッパ

マスク

手袋

長ズボン

靴下

災害時の持ち出し品を確認しておこう!

持ち出し品チェックリスト

- 貴重品 (保険証、通帳、印かんなど)
- 救急薬品・常備薬・処方箋
- 着替え
- 携帯ラジオ
- マスク
- 必需品 (おむつや粉ミルクなど)
- フード付きのビニールカッパ
-
- 帽子、手袋
-

※バスで移動するため、荷物は必要最小限にしましょう!

